

令和 6 年度 中学部 1 年 (II 課程) 国語科 年間指導計画

単位数 配当 時数	児童生徒	担当者
3/105	1年：12名	神田日向子、小菅千鶴、政貴之

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。【中1段階】 (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。【中1段階】 (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。【中1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)簡単な文や文章を読むことができる。【中1段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)】 (思判表力)情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階、C7・I1】 (学・人)文や文章の内容を読み取る態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)情景・場面・心情・時間の経過を表す語句に着目して読むことができる。 (思・判・表)文や文章の概略をとらえ、情景・場面・心情を表す語句について説明することができる。 (主学)文や文章を読み取ろうとする意欲をもって学習に参加することができる。	○説明文。 ○物語、絵本。 ○詩。 ○様々な文や文章、資料などの読み取り(新聞、雑誌、メール、その他文字で書かれた素材) (4~7月)	○挿絵が少なく、文字量がやや多めな文や文章の朗読、黙読、聞き取り。 ○場面の様子の変化を表す語句の抽出、意味の確認。 ○人物の行動と心情を表す語句の抽出、読み取り。 ○時間を表す語句、接続語などの抽出、文や文章の構造や展開の確認。
		(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階7 (ウ)】 (思判表力)長音、拗音、促音、撥音、助詞を用いて語や文を構成することができる。【中1段階I】 (学・人)言葉を丁寧に読んだり書いたりする態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞を正確に読み書きすることができる。 (思・判・表)日常的な言葉(出来事、事物、経験)を発したり書いたりする際に既習内容を応用することができる。 (主学)主体的かつ丁寧に文字を読み書きしようとする意欲を示すことができる。	○長音、拗音、促音、撥音が含まれた言葉の練習。 ○助詞「は」「へ」「を」などの音読、視写、聴写など。 ○平仮名・片仮名・自分や身近な事物の名前を書くこと。 (4~7月)	○長音、拗音、促音、撥音のある語句や文の音読、視写、聴写など。 ○日常的な言葉(出来事、事物、経験)の意味を確認し、生活場面や伝える相手に応じた文字や言葉の使い方などを反復練習すること。
		(知及技)文節の役割を知ることができる。【中1段階7 (イ)】 (思判表力)主語と述語、接続する語句を用いて文を構成することができる。【中1段階、B7】 (学・人)語のまとまりを意識し、読み書きに関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)主語と述語の関係、文節の概念などを理解して言葉を使うことができる。 (思・判・表)主語と述語、接続する語句を用い、様々な場面を想定して会話や作文をすることができる。 (主学)語のまとまりを意識することができる。	○主語と述語。 ○接続語。 ○文章・文・文節の繋がり。 (4~7月)	○主語と述語の係り受け。 ○接続語の働きおよび文章・文・文節の繋がりを。 ○主語、述語、接続語などを用いた文や文章の作成・読解。
2 学期	48	(知及技)事柄を思い浮かべて列挙することができる。【中1段階イ (ア)】 (思判表力)思い浮かべた事柄の中から伝えたい内容を決めることができる。【中1段階、A1】 (学・人)言いたいことを整理し、自分なりの表現で伝える態度を身に付けることができる。【中1段階】	(知・技)「いつ・誰が・何をした」等の場面を整理することができる。 (思・判・表)自分の興味や関心、感情等を挙げて発表の手掛かりとすることができる。 (主学)自分の言葉で伝えようという意欲をもって学習に参加することができる。	○発表のトピックの確認、キーワードの選定。 ○自分の言いたいことを整理して伝えること(手紙、葉書、作文、発表など)。 ○相手の発言内容を汲み取ること。 (9~12月)	○「いつ・誰が・何をした」等を思い浮かべて発表の内容を決めること。 ○聞き手や話す目的を意識し、自分の興味関心、感情等を手掛かりにして話題を決めること。 ○発表者の話をよく聞き、ワークシートにキーワードを書き留めて短文を整序すること。
		(知及技)話をする時の発声方法を理解することができる。【中1段階7(イ)】 (思判表力)場面に応じて発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。【中1段階、A1】 (学・人)人前で言葉を発する姿勢を示すことができる。【中1段階】	(知・技)話をする際に必要な声量と発音の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)聞き手がいることを意識し、適切な発声で話すことができる。 (主学)意欲をもって学習に参加し、発声練習に取り組むことができる。	○文章や詩の音読。 ○出来事の発表。 ○メモや絵や写真などを手掛かりにして話をする事。 (9~12月)	○場面に応じた声量での会話。 ○姿勢や口形を意識した発音。 ○絵や写真で示された事物を言葉で表すこと。
3 学期	21	(知及技)丁寧な言葉があることに気づくことができる。【中1段階7 (カ)】 (思判表力)場面に応じて普通の言葉と丁寧な言葉を使い分けすることができる。【中1段階、A7・I・I、B7】 (学・人)場と相手をわきまえて言葉を使う姿勢を養うことができる。【中1段階】	(知・技)丁寧語と普通の言い方の区別を確認することができる。 (思・判・表)立場や状況に応じて丁寧な表現で伝えることができる。 (主学)相手を敬う気持ちをもって言葉を使おうと心掛けることができる。	○常体と敬体。 ○丁寧語。 ○尊敬語。 ○謙譲語。 (1~3月)	○相手や場面に応じた丁寧語(「～です」「～ます」「～ください」「～でした」「～ました」「～ですか」「～ますか」)の使い分け、反復練習。 ○常体から敬体への言い換え、敬体から常体への言い換え。 ○簡単な尊敬表現と謙譲表現に触れること。
		(知及技)様々な表現方法を理解することができる。【中1段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)】 (思判表力)語句のまとまりを意識し、様々な表現で話したり書いたりすることができる。【中1段階、B7・I・ウ・I・オ、C7・I・ウ・I】 (学・人)様々な言葉を学ぼうとする意欲をもつことができる。【中1段階】	(知・技)様々な語句の意味を確認し、生活場面を想定して使用することができる。 (思・判・表)学習した語句を用いて作文や発表をすることができる。 (主学)言語を習得するために意欲的に学習に取り組み、反復練習をすることができる(視写、聴写など)。	○視写・聴写(平仮名・片仮名・漢字・ローマ字・句読点など)。 ○生活用語、外来語、擬音語、擬態語、数量、気持ちを表す語など。 ○同義語・対義語、上位語・下位語、同音異義語、多義語など。 (1~3月)	○様々な文字や符号を丁寧に書くこと。 ○自分や身近な事物の名前を書くこと。絵や写真で示された事物を言葉として書くこと。 ○使用する語句に関連する単語を確認し、概念を理解すること。

総時 数	105	【評価資料】活動の様子を観察で評価する。
---------	-----	----------------------

令和 6 年度 中学部 1 年 (II 課程) 社会 年間指導計画

単位数配当時数		生徒		担当者	
2/70		中学部 1 年 II 課程		富山直樹	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設 の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力) 社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連つけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。(中学部1段階) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中学部1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の安全を守っていることがわかること。(中1段階ウ(ア)) (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などにお着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。(中1段階ウ(アイ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)ロゴマークやピクトグラム、地図記号のあらわす事項を結びつけて知ろうとしている。 (思・判・表)ロゴマークやピクトグラム、地図記号の使い方について調べまとめ、表現しようとしている。 (主学)学習した内容について、自身の生活環境に結びつけて身近に発見しようとしている。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	・ロゴマークとピクトグラム ・地図記号 ・校外学習 (4～5月)	・ロゴマークとその名称をカードと照合しながら一致させる。 ・ピクトグラムとその名称をカードと照合しながら一致させ、実際校舎内のピクトグラムを探して確認する。 ・地図記号があらわす内容についてまとめる。 ・校外学習の目的地(本部町)について、学校からの道程、距離、地域の特色等について調べワークシートにまとめる。 ・インターネットや視覚教材で地域の状況や特色を調べる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)端午の節句や沖縄県の本土復帰、沖縄戦について、その由来や歴史の流れを理解しようとしている。 (思・判・表)現在と過去の生活様式や道具、文化などについて調べ、その変遷と現在とのつながりについて考え、表現しようとしている。 (主学)日本への他国文化の流入や沖縄県の歴史的背景について理解し、その歴史的意義や成果を自ら見つけようとしている。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	・端午の節句の由来について、歴史的背景を、パワーポイントを活用して調べる。 ・沖縄県の本土復帰について、その歴史的事象と経緯を、パワーポイントやインターネットを活用して調べまとめる。 ・沖縄戦について、インターネットや視覚教材を活用して、歴史的背景や当時の状況について調べる。	
2 学期	28	(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子が分かること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)都道府県内における市町村の市や市町村の地形、土地利用などに着目して身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。(中1段階ボ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)沖縄県の市町村毎の特色を理解しようとしている。 (思・判・表)沖縄県の市町村について調べた事柄についてワークシートにまとめて各市町村毎の差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)自分の住んでいる地域や近隣の市区町村について学んだことを、地域社会で自ら見つけようとしている。	沖縄県の市町村(北部圏域) (9～12月)	・自身の居住地を中心とした北部圏域の市町村について、市町村ごとに、市町村章、市町村花木、特産品等の特色等について調べまとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は時間とともに、移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階ボ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)日本の国土、地形、気候や都道府県毎の特色を理解しようとしている。 (思・判・表)日本の都道府県について調べた事柄についてワークシートにまとめて各都道府県毎の差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)沖縄県と日本国全体について学んだことを、比較しながら、その類似点や相違点を見つけようとしている。	沖縄県の特色 ・位置、気候、産業、歴史、文化等 (9～12月)	・沖縄県と本土との違いを知り、沖縄県の独自性や特色について調べまとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市区町村の様子、人々の生活は、時間と共に移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市区町村の人々の生活の様子。(中1段階カ(ア)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)日本の時代区分の方法を知り、時代毎の特色について理解しようとしている。 (思・判・表)各時代毎の文化や風習、流行などの違いについて、調べたことをまとめ、表現しようとしている。 (主学)各時代毎の特色と、現在の自分たちの生活を結びつけて捉えようとしている。	日本と外国の様子 (9～12月)	・地図を活用しながら、日本や外国の様子を知り、その違いや共通点について調べまとめる。 ・インターネットや視覚教材で世界の主立った国々の特徴を調べまとめる。
3 学期	18	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)) (学・人)社会生活について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階フ)	(知・技)SDGs誕生の経緯、その意義について理解しようとしている。 (思・判・表)SDGsの実践例の中から実践可能な取り組みを見つけてようとしている。 (主学)SDGsについて学んだことを、生活の中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	SDGs (1～3月)	・SDGsが誕生した経緯と意義について調べる。 ・SDGsの実践例について、インターネットや視覚教材を使って調べまとめる。 ・自身が実践可能なSDGsは何か考え、具体的にどう取り組むか考える。
		(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)) (学・人)社会生活について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、指示されたミッションを理解し、様々な場所で課題を解決しようとしている。 (思・判・表)教師以外に働く人たちが学校に従事していることについて理解し、調べまとめ表現しようとしている。 (主学)チームで活動することで、協力して課題解決に取り組もうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	ミッションゲーム (学校で働く人たちについて調べよう) (1～3月)	・提示された指令(ミッション)を理解して、チームごとの課題解決活動に協力して取り組む。 ・ミッションの成果や課題について、チームでまとめ、発表する。
総時数	70				

令和6年度 中学部 1年(Ⅱ課程) 数学科 年間指導計画

配当時数	対象生徒	担当者
105	中学部1年Ⅱ課程	森田 裕貴

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基本的・基礎的な数量や図形の性質等を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)時間の単位(秒、分、時)について理解し、時計を読むことができる。(中1段階Cイ(ア)) (思判表力)日常生活における時刻や時間を求めることができる。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)時刻や時間の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Cウ)	(知・技)時計から秒、分、時の情報を読み取ることができる。 (思・判・表)一日の活動予定時刻を大まかに答えることができる。 (主学)時刻について課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	時刻や時間(4月)	・時計の読み方 ・時計の針を合わせる。 ・一日の活動の大まかな時間
		(知及技)3位数の表し方について理解することができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)3位数の大小や順序を判断することができる。(中1段階Aイ(ア)) (学・人)整数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Aウ)	(知・技)3位数の読み書きができる。 (思・判・表)2つの3位数を比較し、大小を答えることができる。 (主学)整数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	整数の表し方(5月)	・3位数の位取り・3位数の読み方 ・3位数の書き方・3位数の大小・順序の比較 ・日常で用いられる3位数(身長、家具の大きさ、建築物など)
		(知及技)整数の加法・減法を解くことができる。(中1段階Aイ(ア)) (思判表力)数量の関係を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人)加法・減法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Aウ)	(知・技)3位数の加法・減法を解くことができる。 (思・判・表)文章題から加法・減法の式を立て、解答することができる。 (主学)整数の加法・減法の課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	整数の加法・減法(6～7月)	・2位数の加法、減法(復習) ・3位数の加法(繰り上がりなし、繰り上がり1回、2回) ・3位数の減法(繰り下がりなし、繰り下がり1回、繰り下がり2回) ・加法・減法の文章題 ・日常にある3位数の加法・減法
2学期	48	(知及技)1位数と1位数の乗法計算ができる。(中1段階Aウ(ア)) (思判表力)数量の関係を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中1段階Aウ(イ)) (学・人)乗法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Aウ)	(知・技)九九の1の段から9の段まで答えることができる。 (思・判・表)文章題から乗法の式を立て、解答することができる。 (主学)整数の乗法の課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	整数の乗法(9～10月)	・かけ算の意味について ・かけ算の解答について ・九九の暗唱 ・かけ算の文章題
		(知及技)三角形や四角形、箱の形などについて理解し、関係する名称を答えることができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)基本的な形の特徴を捉え、それらを操作し、課題を解決することができる。(中1段階Bイ(ア)) (学・人)図形の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Bウ)	(知・技)形から図形の名称を答えることができる。(三角形、四角形、直角三角形、正方形、長方形、箱) (思・判・表)複数の図形の特徴からグループ分けすることができる。 (主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	図形について(11～12月)	・基本的な図形の名称(三角形、四角形) ・図形に関する用語の学習(直角、頂点、辺、面) ・日常の中にある形
3学期	21	(知及技)身の周りの量について、道具を用いて測定することができる。(中1段階Cア(ア)) (思判表力)身の回りの量を適切な単位を用いて表現することができる。(中1段階Cア(イ)) (学・人)量の単位と測定の単元で、学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Cウ)	(知・技)道具を用いて身の周りの物を測定することができる。 (思・判・表)道具を用いて、必要な量を測定することができる。 (主学)量の測定に関する課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	量の単位と測定(1～2月)	・長さ、重さ、量の単位 ・具体物の量の測定(長さ、重さ、量) ・指定された量の測定(長さ、重さ、量) ・身近の物の量の測定と発表
		(知及技)身の回りにある数量を表やグラフにまとめることができる。(中1段階Dア(ア)) (思判表力)グラフや表から必要な情報を読み取ることができる。(中1段階Dア(イ)) (学・人)データの活用で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Dウ)	(知・技)与えられた情報から表やグラフを作成することができる。 (思・判・表)表やグラフから必要な情報を読み取ることができる。 (主学)データの活用に関する課題に取り組み、提出・発表することができる。 【評価資料】課題の達成度と活動の観察で評価する。	データの活用(3月)	・表の作成(個数調べ、誕生日調べなど) ・グラフの作成(棒グラフ、折れ線グラフ) ・表やグラフの読み取り(最大値、最小値など) ・グラフを用いた発表
総時数	105				

令和6年度 中学部 1年 (II課程) 理科 年間指導計画

単位数/配当時間	生徒	担当者
2/70	12名	大城凱

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)身の回りの生物、自然、気象や身の回り起こる科学現象について気づき、観察、実験に取り組むことができるようにする。(中学部1段階) (思判表力)身の回りの生物、自然、気象や身の回り起こる科学現象の共通点や差異点に気づき、疑問を持つことができるようにする。(中学部1段階) (学・人)身の回りの生物、自然、気象や身の回り起こる科学現象について理解し、日常生活に活かすことができるようにする。(中学部1段階)			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(春～夏) (4月～5月)	・知っている植物や動物、興味、関心のある植物や動物の名前や特徴を発表する。 ・校内で春から夏にかけて見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・モンシロチョウの成長過程や昆虫の体のつくりを観察し、プリントにまとめる。 ・農場で夏野菜の観察をし、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・植物を育て、その成長過程と植物の体のつくりを観察し、プリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
		(知及技)太陽と地面の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)太陽と地面の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Bイ(イ)) (学・人)太陽と地面の様子について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)太陽の光と日向、日陰の関係や、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることなど、太陽と地面の様子との関係を理解しようとしている。 (思・判・表)影や日陰のできる位置や日なたや日陰の暖かさなどについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)太陽と地面の様子について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	太陽と地面の様子 (6月～7月)	・建物によってできる日陰や物によってできる影の位置、太陽と日陰や影の位置の違いを調べる。 ・光が当たっている地面と当たっていない地面の暖かさや地面の様子について調べる。(手で触れる。温度を測る) ・インターネットや視覚教材で太陽の動きや特徴を調べる。
2学期	28	(知及技)物の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cア(ア)) (思判表力)物の性質から主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)物の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)物の形や体積と重さとの関係について理解しようとしている。 (思・判・表)物の形や体積と重さについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)物の性質について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	物と重さ (9月～10月)	・身の回りにある形の変わらぬいくつかの物を、広げたり、いくつかに分けて丸めたりすることで形を変え、そのときの重さの違いを調べる。 ・粘土や砂などの物を、容器などを用いて体積を同じにし、そのときの重さの違いを調べる。
		(知及技)風やゴムの力の働きについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cア(ア)) (思判表力)風やゴムの力の働きから、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつ力養う。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)風やゴムの力の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。(中1段階)	(知・技)風やゴムの力の働きについて理解しようとしている。 (思・判・表)風やゴムの力と物の動く様子などについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)風やゴムの力の働きについて学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	風やゴムの力の働き (10月～11月)	・物に風を当てたときの力の大きさと物の動く様子について調べる。 ・ゴムの力で動く物をつくり、長さや太さが同じゴムを複数束ねたり、引っ張る長さを変えたりしたときの元に戻ろうとする力の大きさについて調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(秋) (11月～12月)	・校内で秋に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を観察し、その成長過程やつくりをプリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
3学期	18	(知及技)電気の回路について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cオ(ア)) (思判表力)電気の回路から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cイ(イ)) (学・人)電気の回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	電気の通り道 (1月～2月)	・乾電池と豆電球などを導線でつないだときの、つなぎ方と豆電球などの様子について調べる。 ・回路の一部に、身の回りにあるいろいろな物を入れたときの豆電球などの様子について調べる。 ・身の回りにある電気とそれを利用した機器を調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(冬～春) (2月～3月)	・校内で冬に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を通してその成長過程を観察し、プリントにまとめる。 ・サクラの花のつくりや昆虫との関係を観察する。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
総時数	70				

令和 6 年度 中学部 1 年 (II 課程) 美術 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
70	中学部 1 年 II 課程	伊良波愛理

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A(イ)) (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。(中1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A(イ)) (思・判・表) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をしている。 (主学) 美術の活動に楽しく取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「描く活動」(4月、5月) ・想像したことを表す ・モダンテクニック	・生徒にわかりやすく関心が持てる物語や詩を読み、思い浮かんだことを絵に表現する。画材は時間配分や生徒の実態に応じて選択。 ・モダンテクニックで偶然性の高い絵を作り、何が見えてくるか画面をよく見つめる。必要に応じ加筆するなどして、何が見えたか他者に伝えるようにしたり、発表したりする。友達の色も鑑賞し、自分は何に見えるかなど見え方の違いを発表し合う。
		(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A(イ)) (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。(中1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表したりしようとしている。 (思・判・表) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想をしている。 (主学) 美術の活動に楽しく取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「イメージを形に」(6月、7月) ・人や動物の形を表す。 ・動くおもちゃ	・油粘土や紙粘土を使い、好きな動物を作る。図鑑を借りてきて作ってもよい。粘土のくっつけ方、切り方、丸め方などを理解しながら、イメージを形にしている。 ・牛乳パックと輪ゴムを使った仕掛けで、中から飛び出す仕組みをつくる。箱は既成の箱を利用。マスキングテープや折り紙などを貼って装飾。
		(知及技) 表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(イ)) (思判表力) 自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(イ)) (学・人) 感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感することができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料による印象の違いや適した用具などについて考えようとしている。 (思・判・表) 自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動しようとしている。 (主学) 自分や友達の色を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞 (4~7月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示
2 学期	28	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階) (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができる。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表している。 (思・判・表) 経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想をしている。 (主学) 美術の活動に楽しく取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	版画「コラグラフ」 (9月、10月) ・コラグラフ ・ステレン版画	厚紙等に紙、布、ひも、植物の葉など様々な物を貼り、スプレーペンキでコーティングするかアルミホイルで覆うかして版を作る。黒インク・プレス機で刷る。薄めに溶いた透明水彩・アクリル・インクなどで彩色し、印象の違いを確認する。
		(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。(中1段階A(イ)) (思判表力) 造形的な特徴などからイメージをもつことができる。(中1段階共通(イ)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表している。 (思・判・表) 顔の構成を学び、表情などイメージをもって表現している。 (主学) 美術の活動に楽しく取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「空間を飾ろう」 (11月、12月) ・つるすかざり ・つないでつくるう	紙粘土(ふわふわ軽い方)をちぎって団子や、好きな形をたくさん作る。爪楊枝に刺し、発泡スチロールにさして乾燥させた後着色。爪楊枝を抜いた穴からワイヤー(3メートルくらい)をとおり、全部通したら曲げて好みの形に仕上げる。ペンチの扱い方も学習し、針金を切ったり先端を曲げたりする。展示は天井からつるす。できあがりのイメージを始めて写真などで見せ、どんな形に仕上げるかイメージして制作する。
3 学期	18	(知及技) 表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(イ)) (思判表力) 自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(ア)) (学・人) 感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感することができる。(中1段階ウ)	(知・技) 材料による印象の違いや適した用具などについて考えている。 (思・判・表) 自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動している。 (主学) 自分や友達の色を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞 (1~3月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示
		(知及技) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ることができる。(中1段階共通(ア)) (思判表力) 造形的な特徴などからイメージをもつことができる。(中1段階共通(イ)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことができる。(中1段階ウ)	(知・技) 形や色彩、材料の特徴を生かし表そうとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴からイメージできた。 (主学) 美術の活動に楽しく取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「生活を豊かに」 「焼き物をつくろう」 (1~3月) ・お皿 ・フォトフレーム ・面シーサー	焼き物の制作工程や、沖繩のやちむんについて視覚教材を使って学習する。たたらをつくり、皿の型で切る。切ったたたらを型に落とし込み成形する。素焼き後、色化粘土や印花で装飾する。時間に余裕があれば、ペーパーをかけた後、施釉を体験したり、窯の様子を見学する。
		(知及技) 表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(イ)) (思判表力) 自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。(中1段階B(イ)) (学・人) 感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感することができる。(中1段階ウ)	(知・技) 自身の作品を振り返ることで、表し方や材料による印象の違いに気付くことができた。 (思・判・表) 作品集制作の過程で、自身の作品を振り返り、よさや面白さに気付くことができた。 (主学) 自分や友達の色を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「作品集づくり」 「コラージュ」 (3月)	・年間の作品や写真を製本し、自身の制作活動を振り返る。 ・行事で撮った写真、行事のイメージにあう画像を雑誌などから集めたもの、気に入った模様の包装紙や模様のある折り紙などの素材をえらび、貼る位置や大きさ、色味を考慮バランスを見ながら、素材をトリミングしたり貼り付けたりして一つの画面に構成する。
総時数	70時間				

令和 6年度 中学部1年 (II 課程) 音楽 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者
2/70	中学部1年II課程	宮川優美

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。【中学部1段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて理解する。(中1段階Aア(イ)㉔) (思判表力)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができるようにする。(中1段階Aア(ウ)) (学・人)進んで音や音楽に関わろうとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技)歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱することを身に付けている。 (思・判・表)歌詞の内容や曲想を知り、イメージをもって歌うことを身に付けている。 (主学)楽曲の美しさを感じて歌唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱 ・手話表現 ・身体表現 (4～3月)	・正しい姿勢で発声しよう ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・歌詞を覚えて歌ってみよう ・手話の動きを覚えて表現しよう
		(知及技)知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階) (思判表力)曲の雰囲気と音楽の構造との関わりにつづきながら、音楽を味わう。(中1段階) (学・人)簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を養う。(中1段階Aイ(ウ)㉕)	(知・技)表したい音楽表現をするために、音楽づくりを身に付けようとしている。 (思・判・表)音の長さ、簡単な楽譜を見てリズムや速度が分かる。 (主学)音階カードを見ながら、簡単な楽曲を一人で演奏しようとして身に付け、協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 ・創作 (5～6月)	・打楽器をつかってリズムアンサンブルをしよう ・旋律の創作活動 ・器楽合奏
		(知及技)表したい音楽表現に身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階工(ア)) (思判表力)音楽を味わって聴くことができるようにする。(中1段階B) (学・人)様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技)曲想と音楽の構造等の関わりについて知っている。 (思・判・表)楽器の音色や楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞 郷土の音楽について学ぼう (6月)	・協奏曲やオーケストラについて学ぼう「ピバルディ春」 ・様々な楽器の名称や音色を知ろう ・楽器の音色の特徴に気付いて鑑賞しよう
2 学期	28	(知及技)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら意図を理解しながら曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとしている。(中1段階Aイ(ア)) (思判表力)曲の雰囲気と音楽の構造を意識して、音楽を味わう。(中1段階A(ア)) (学・人)音色や響きに気をつけて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を養う。(中1段階Aイ(ウ)㉖)	(知・技)音の長さやシンコペーションのリズムの違いに気をつけながら演奏しようとしている。 (思・判・表)音の長さを知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度を気をつけようとしている。 (主学)協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 (9～11月)	・楽器の選択 ・楽器の正しい奏法を学ぶ ・合奏を楽しもう ・速さの違いを感じて演奏しよう
		(知及技)鑑賞についての知識を得たり、曲や演奏のよさを見だして聴く。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)曲の雰囲気と音楽の構造を味わって聴くことができるようにする。(中1段階B) (学・人)様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技)曲の構造等の関わりについて知っている。 (思・判・表)楽器の音色や鳴らし方に興味を持って、鑑賞している。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞「舞台芸術」「好きな曲紹介」 ・iPadを使って調べ学習 (12月)	・舞台芸術について学ぼう (ミュージカル・オペラ・バレエ等) ・自分のおすすめしたい曲を紹介しよう「好きな曲紹介」 ・友達の良い曲を聴いてみよう ・iPadを使って学習する曲を調べよう
3 学期	18	(知及技)音を音楽へと構成することについて思いや意図をもって、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階Aウ(ウ)) (思判表力)曲の雰囲気と楽器の音色と全体の響きのよさを見いだしながら、音楽を味わう。(中1段階) (学・人)友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて、協働して音楽活動をする楽しむ態度を養う。(中1段階Aイ(ウ)㉗)	(知・技)音楽用語やリズムの特徴の意味を知り、曲の流れを止めずに演奏しようとしている。 (思・判・表)音の長さが分かり、簡単な楽譜を見てリズムや速度を知っている。 (主学)協力して音楽活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱・身体表現 (1～3月)	・指揮に挑戦しよう ・卒業の歌 ・歌詞や情景や曲想に相応しい歌い方を工夫しよう
		(知及技)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲のよさなどを見だして聴くことができる。(中1段階B) (思判表力)曲想と音楽の構造等との関わりについて聴くことができる。(中1段階A) (学・人)様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技)曲想と音楽の構造等の関わりについて知っている。 (思・判・表)楽器の音色や鳴らし方、楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学)集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽合奏 (2月)	・器楽合奏 ・卒業コンサート ・友達に合わせて演奏しよう
総時数	70				

令和6年度 中学部 1年保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者			
105	中学部1年Ⅱ課程	伊禮碧海			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人)各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めることができる。(中1段階Aア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Aウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めようとしている。 (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えようとしている。 (主・学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録で評価する。	A体づくり運動 (4～5月)	○体力テスト 50m走、100m走、握力、ボール投げ、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、持久走等 ○体力作り ウォーキング、ランニング、サーキットトレーニング等
		(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。 (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (6～7月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。
		(知及技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(中1段階Gア) (思判表力)ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Gイ) (学・人)ダンスに進んで取り組み、友達や周囲の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Gウ)	(知及技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。 (思判表力)ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)ダンスに進んで取り組み、友達や周囲の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】【評価資料】活動の様子、感想発表で評価する。	Gダンス (4～3月)	○音楽やリズムと動き ・特体連体大会で踊るダンスを覚える。弾む動きにねじる、回るなどの動きを入れて変化を付けたり、素早い動きやストップなどでリズムの変化をつけたりして続けて踊る。 ※ダンスは年間を通して指導する。
		(知及技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。(中1段階Hア) (思判表力)自分やグループの健康・安全について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえることができる。(中1段階Hイ) (学・人)健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)	(知及技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思判表力)自分やグループの健康・安全について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主・学)健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養おうとしている。 【評価資料】学習の様子、ワークシートで評価する。	H保健 (4～3月)	○気持ちが意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないこと、などの心と体の調子がよい状態にあることを理解し実践しているか発問、観察等。 ○友達の体調の変化やけがをした際に、教師に伝えたり、施設や用具の安全な使い方を知り、けがのないように気を付けて行動したりすることができるようにすること。 ○不安や悩みなどがあるときには、家族や教師、友達などと話したり、相談したりすること、友達と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることなど心の健康について。 ※保健は年間を通して指導する。

2 学 期	48	(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Dア) (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Dイ) (学・人)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Dウ)	(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録、学習カードで評価する。	D水泳運動 (9～10月)	○呼吸をしながらの泳ぎ ・補助員を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・補助員を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バク足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。 ○補助員を使ったクロールや平泳ぎのストローク ・補助員を使って、手を左右交互に前に出し、水をかくクロールのストロークや、手の平を下向きにそろえ両手を前方に伸ばし、水をかく平泳ぎのストロークをすること。
		(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Cア) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Cイ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Cウ)	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上運動 (9～10月)	○短距離走・リレー ・50m～100m程度の短距離走 ○長距離走 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
		(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。 (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (11～12月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。
3 学 期	21	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Cア) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Cイ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Cウ)	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上運動 (1～2月)	○長距離走、駅伝 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
		(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。 (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (1～2月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。
		(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。(中1段階Fア) (思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえること。(中1段階Fイ) (学・人)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階Fウ)	(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開しようとしている。 (思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主・学)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	F武道 (2～3月)	○基本動作(空手道) ・空手の内容は、「基本」「型」「組手」の3つに分かれる。基本動作を反復して行う。 ・オリンピック代表選手など空手有段者の動画を視聴。
総時 数	105				

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程グループ） 外国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部1年Ⅱ課程	島袋 耕全

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技)英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようすることができる。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 簡単な挨拶をし合う活動を行うことができる。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 簡単な挨拶をし合う活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【自己紹介】 【アルファベット】 ・挨拶をしよう ・自己紹介をしよう ・名札を作ろう (4～5月)	・英語でのあいさつを知り、発音する。 ・自分の名前の文字、スペルを知る。 ・アルファベットで自分の名前を書いて名札を作る。 ・簡単なゲームを通して、単語と意味のマッチングし、音や使い方を定着させる。
		(知・技)英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようすることができる。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとすることができる。【中段階(1)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【like, don't like】 ・好きを表す単語を知ろう (6～7月)	・自己紹介の表現を知り、発音する。(My name is～or I am ～, I like～, I don't like～) ・自己紹介の内容を聞きとることができる。
		(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしたりすることができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動を行うことができる。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【5W,1H】 ・たずねてみよう。 ・好きなものなどについてたずねよう。 (6～7月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、たずねる。 ・簡単な単語や表現を使ってお互いのことを伝え合う。
2 学期	14	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしたりすることができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【SummerVacation】 ・夏休みの思い出についてスピーチしよう 【1学期の振り返り】 ・1学期に学んだことを思い出そう 【Can, Can't】 ・できる、できないについて知ろう。 (9月)	・他者に配慮しながら、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。 ・1学期に学習した内容の復習。 ・「Can」の意味を理解する。 ・「Can't」の意味を理解する。
		(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動を行うことができる。【中段階(2)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・ハロウィン ・感謝祭 ・クリスマス (10～12月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。

		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階(1)ウ】(思判表力)身近な事物を表す文字を書く活動を行うことができる。【中段階(2)エ】(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。(思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動をしようとしている。(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (11~12月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。
3 学 期	9	(知及技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(2)イ】(思判表力)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(1)ア】(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(2)イ】(思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【Winter Vacation】 ・冬休みの思い出についてスピーチしよう。 【2学期の振り返り】 ・2学期に学んだことを思い出そう 【将来の夢・職業】 【want to be~】 ・「~になりたい」と表現する (1~2月)	・他者に配慮しながら、冬休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。 ・2学期に学習した内容の復習。 ・将来の夢や職業に関する単語や表現を学習する。 ・将来の夢や職業に関する単語を調べる。 ・将来の夢や職業、その理由などを伝える、もしくはスピーチをする。
		(知及技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)イ】(思判表力)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動を行うことができる。【中段階(2)イ】(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。(思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・バレンタイン ・卒業 (2~3月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。
		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階(1)ウ】(思判表力)身近な事物を表す文字を書く活動を行うことができる。【中段階(2)エ】(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。(思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動をしようとしている。(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (3月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。 ・学校生活や行事に関する単語や表現の学習する。 ・他者に配慮しながら、学校生活で楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。
総時 数	35				

令和 6年度 中学部1年 (II課程) 職業・家庭 (家庭班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
7/245	中学部1年II課程	宮城 三幸

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業についての関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。 【中1段階】 (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	84	(知及技) 働くことの意味などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等に達成感を得ることができる。【中1段階A(ア)】	(知・技) 働くことについて関心をもち、作業や実習に取り組もうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもち、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。 (主学) 作業や実習等に進んで取り組もうという様子がみられる。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・オリエンテーション (4月)	・授業開き、教室や用具の使用心得
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を知ろうとしている。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表しようとしている。 (主学) 他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・縫製実習 (4～3月)	・基礎縫い、スウェーデン刺しゅう、小物づくり
		(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知ることができる。【中1段階Bイ家庭分野】 (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。【中1段階Bイ家庭分野】 (学・人) 調理の手順を理解し、工夫することができる。【中1段階ウ】	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知ろうとしている。 (思・判・表) 簡単な調理計画について考えようとしている。 (主学) 調理の手順を理解し、工夫しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・調理実習 (5～3月)	・計量、アイスボックスクー、マフィン
2 学期	98	(知及技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階Bア】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階Bイ】 (学・人) 進んで製作活動に取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 進んで製作活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・パソコンにふれてみよう (9月)	・マウスを使おう、インターネットを見てみよう
		(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知ることができる。【中1段階Bウ家庭分野】 (思判表力) 日常の着方や手入れの仕方に気付き、工夫することができる。【中1段階Bウ家庭分野】 (学・人) 縫製の手順を理解し、一人で作品を仕上げることができる。【中1段階ウ】	(知・技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知ろうとしている。 (思・判・表) 日常の着方や手入れの仕方に気付き、工夫しようとしている。 (主学) 縫製の手順を理解し、一人で作品を仕上げようとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・衣服の着用と手入れ (10～11月)	・アイロン、洗濯
		(知及技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人) 他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べようとしている。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べようとしている。 (主学) 他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・校内実習 (10月)	・チラシ、ポスター製作 ・スライドショー製作
		(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ることができる。【中1段階Cア家庭分野】 (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階Cイ家庭分野】 (学・人) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践することができる。【中1段階ウ】	(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ろうとしている。 (思・判・表) 生活に必要な物を選んだり、物を大切にしようとしている。 (主学) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・買い物学習、販売学習 (11～12月)	・お金の学習、計算、支払い方法、接客マナー
3 学期	63	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切を知ることができる。【中1段階Aア家庭分野】 (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気付き、それらを他者に伝えることができる。【中1段階Aア家庭分野】 (学・人) 家族を大切にすることを育み、家族との関わり方を工夫しようすることができる。【中1段階ウ】	(知・技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切を知ろうとしている。 (思・判・表) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気付き、それらを他者に伝えようとしている。 (主学) 家族を大切にすることを育み、家族との関わり方を工夫しようとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・自分の成長と家族 (1月)	・自分のことについて知る、自分の家族について知る、自分の家族について紹介してみよう
		(知及技) 接客マナーについて学び、関心を持つことができる。【中1段階ア】 (思判表力) 接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客することができる。【中1段階イ】 (学・人) 販売学習に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 接客マナーについて学び、関心を持つようとしている。 (思・判・表) 接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客しようとしている。 (主学) 販売学習に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返りシート) や活動の様子で評価する。	・買い物学習、販売学習 (2～3月)	・学校近くのコンビニエンスストアでの買い物の学習、自分達が製作・調理した物を販売する
総時数	245				

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程） 職業・家庭（農園班） 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部1年Ⅱ課程	新里夏菜

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)働くことの目的を知ることができる。【中1段階Aア(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階Aア(イ)】 (学・人)オリエンテーションや係決めなどの活動に参加することができる。	(知・技)働くことの目的を知ることができた。 (思・判・表)自分の役割に意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができた。 (主学)オリエンテーションや係決めなどの活動に参加することができた。 【評価資料】活動の様子、授業態度で評価する。	オリエンテーション (4月)	・働く目的について ・一年間の作業内容について ・作業の心得 ・身なりの確認
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人)協力して作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題を知り、作業に必要な道具を扱い方になれることができた。 (思・判・表)自分の役割に意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができた。 (主学)協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や草花の栽培及び販売 (ナス、ピーマン、オクラ、コリウス、マリーゴールド等) (4～7月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 ・灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 ・収穫、計量、袋詰め、販売 ・草花の栽培 ・播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 ・接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人)協力して作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人)協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(4～7月)	・清掃の意義 ・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃
		(知及技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cア】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。 (主学)売上金を使って買い物学習に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について① (7月)	・身近な職業調べ ・将来身に付けたい力について ・働く目的 ・近くのコンビニを利用した買い物学習
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階Aア(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、気付き、他者に伝えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、気付き、他者に伝えることができた。 (主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことをみつけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	反省会 (7月)	・一学期の反省会 ・一学期の振り返り、発表
(知及技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について知ることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階Aア(ウ)】	(知・技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について知ることができた。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (主学)作業や実習等で達成感を得ることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や花の栽培(キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、ペゴニア、マリーゴールド等) (9～12月) 校内実習 (10月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・農場整備 ・畝立て、マルチシート張り、植え穴開け、敷き草敷き ・野菜の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・草花の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水		

2 学 期	84	(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階A1(7)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A1(1)】 (学・人)進んで作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人)進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(9～12月)	・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・窓清掃
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B1(7)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B1(1)】 (学・人)進んで製作活動に取り組むことができる。	(知・技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができた。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができた。 (主学)進んで製作活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子、作品、授業態度で評価する。	コンピュータ等を使った実習(9～10月)	・コンピュータやタブレット端末の基本操作 ・アプリケーションを用いた製作活動(チラシ・ポスター作成、スライドショー作り) ・情報モラル
		(知及技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C1(7)】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階C1(1)】 (学・人)事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。 (主学)事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について②(11月)	・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて ・事業所見学
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階A1(7)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C1(1)】 (学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	反省会(12月)	・2学期の反省会 ・2学期の振り返りの発表
3 学 期	54	(知及技)作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができる。【中1段階A1(7)】 (思判表力)職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。【中1段階A1(1)】 (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。	(知・技)作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理について気付くことができた。 (主学)作業や実習等で達成感を得ることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や花の栽培及び販売(キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、サルビア等)(1～2月) 野菜の栽培(ピーマン、ナス、オクラ等)(2～3月) 校内実習(1月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 ・定植、灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 ・収穫、計量、袋詰め、販売 ・花の栽培 ・播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 ・接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができる。【中1段階A1(7)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A1(1)】 (学・人)進んで作業に取り組むことができる。	(知・技)作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人)進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(1～3月)	・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・教室清掃
		(知及技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C1(7)】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階C1(1)】 (学・人)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。 (主学)売上金を使って買い物学習に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について③(3月)	・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて ・買い物学習
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階A1(7)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C1(1)】 (学・人)1年間を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (主学)1年間を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	反省会(3月)	・3学期の反省会 ・一年間の振り返り、発表
総時 数	210				

令和6年度 中学部1年(Ⅱ課程)職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者			
6	中学部1年Ⅱ課程	仲宗根 正			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。【中1段階】 (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(4月～7月) ・ミーティング ・将来の生活 ・いろいろな職業	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)②】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)③】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品製作 ・なべ敷き(4～5月) ・ミニイス(6～7月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作等	情報機器の活用 ・出席管理(4～7月) ・情報検索(4～7月) ・学習記録(7月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等
2 学期	84	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(9月～12月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)②】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)③】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・鉢かけ(9～10月) ・ワゴンラック(10～12月) ・小物入れ(11～12月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作、作物等	情報機器の活用 ・出席管理(9～12月) ・情報検索(9～12月) ・学習記録(12月) ・販売に向けて(12月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等 ○販売用ポスター等作成
3 学期	54	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(1月～3月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)②】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)③】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・ワゴンラック(1～3月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など)
		(知及技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人) 校内実習で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べようとしている。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べようとしている。 (主学) 校内実習で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、タイムカード、実習日誌等	校内実習(10月) ・事前学習 ・木工品制作 ・事後学習	○校内実習について ○木工品製作 ○販売準備 ○事後学習
総時数	210	※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、木工品の製作を校内美化やリサイクル活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。			

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
35	中学部1年Ⅱ課程		岸本 鈴香		
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	A 主として自分自身に関する事 ・自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。【個性の伸長】	・自分の長所や改善点を調べる。 ・教科制について理解し、自ら学習の準備ができています。 ・自己向上のための目標を設定している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・個人目標の設定 ・新しい授業、先生を知る (4～5月)	・中学生になって（ルールやマナー） ・個人目標 ・自身の時間割と教科担当の先生、教科の教室を理解し、教室移動の際の手順や約束を学ぶ。 ・1学期の個人目標を設定する。
		C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・沖縄戦や郷土の歴史に興味を持ち、学習へ取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・平和学習 ・沖縄戦 ・生き物を大切にする (6月)	・平和学習 ・慰霊の日に向けて沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や、命の大切さについて再確認する。 ・復帰記念日に向け沖縄の歴史を学び、自らの生きる地域社会について興味をもつ。
		A 主として自分自身に関する事 ・正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。【善悪の判断、自律、自由と責任】	・いじめについて考え、善悪の判断を自信をもって行おうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・1学期のふりかえり ・いじめについて考えよう (7月)	・1学期をふりかえる ・いじめアンケートの実施。いじめについて考える。（学部集会）
2 学期	14	A 主として自分自身に関する事 ・過ちは素直に改め、正直に明るく心で生活すること。【正直、誠実】	・学級会へ参加し、自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自分の良い所、友達の良い所さがし ・異性との付き合い方 友情、親愛 (9月)	・学年活動 ・校外学習のルール、マナー ・男女の違い（性教育） ・学年活動を通じた行動を振り返る。学級単位のアクティブラーニングにより他者への理解を深める。
		A 主として自分自身に関する事 ・自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある行動をすること。【節度、節制】	・自分の生活をふりかえり、自分でできることを考えようとしている。 ・話し合い活動に参加し、自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「目ざまし時計」（教科書） (10月)	・自分の生活をふりかえり、できること・もつとがなげられることについて考える。 ・教科書を読んで「よし子」さんの行動について皆で考える。
		A 主として自分自身に関する事 ・自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。【希望と勇気、努力と強い意志】	・2学期の成功や失敗を振りかえって学び、目標が達成できたか確認する。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自己の未来 ・2学期の振り返り キャリアパスポート (12月)	・自己の未来 ・2学期を振り返り、3学期に向けた目標を持つようにする。
3 学期	9	B 主として人との関わりに関する事 ・相手のことを思いやり、進んで親切にすること。【親切、思いやり】	・困った人を助けること、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づこうとしている。 ・思いやりのある行動をしようとする心情が育まれたか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「なにかお手つだいできることはありますか？」教科書 (1～2月)	・困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づく。 ・親切とは何か。
		A 主として自分自身に関する事 ・自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。【希望と勇気、努力と強い意志】	・1年間の成功や失敗を振りかえって学び、自身の得意なこと、苦手なことを理解している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自己の未来 ・1年間の振り返り キャリアパスポート (3月)	・自己の未来 ・1年間の振り返り ・自己の1年間で振り返り、進級に向けた目標を持つようにする。
総時数	35				

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部1年Ⅱ課程	富山 直樹

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。(学・人) ・実社会や実生活の中から疑問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。(思判表力)(学・人) ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う(学・人)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)学級や学年の仲間に関心を持って話を聞くことができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、相手に伝えることができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとすることができた。 (思・判・表)まとめたものを相手に伝えたり、表現しようとするすることができた。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「学級開き」(4月)	・先生の紹介 ・自己紹介
		(知及技)係や当番のやり方や活動の流れを理解することができる。 (思判表力)活動内容を理解し、自分の作業に責任を持って取り組むことができる。 (学・人)自分や仲間と相談し、協力して活動できる。	(知・技)係や当番のやり方や活動の流れを理解することができた。 (思・判・表)活動内容を理解し、自分の作業に責任を持って取り組むことができた。 (主学)自分や仲間と相談し、協力して活動する姿勢を身につけることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「教室環境を整えよう」(4月)	・係決め ・掲示物作成
		(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知る。 (思判表力)自分の長所や課題を理解し、まとめることができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について学ぶことができた。 (思・判・表)自分の長所や課題を理解し、まとめようとする姿勢を身につけることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(5月)	・1学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーについて理解することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて理解することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(5、6月)	・校外学習
		(知及技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができる。 (思判表力)自分の長所や短所を理解し、まとめることができる。 (学・人)教師や仲間の話、写真等を確認して、課題に取り組むことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができた。 (思・判・表)自分の長所や短所を理解し、まとめることができた。 (主学)教師や仲間の話、写真等を確認して、課題に取り組もうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「キャリアパスポート作成、自分の進路について考えよう」(7月)	・写真やスライドなどで、これまでの活動を振り返る。 ・キャリアパスポート作成
		(知及技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えようとすることができた。 (思・判・表)学習したことを振り返り、次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期を振り返ろう」 「夏休みの過ごし方について」(7月)	・スライドで1学期を振り返る。 ・1学期の自分の目標を振り返る。 ・夏休みの過ごし方
2 学期	14	(知及技)これまでの活動を振り返り、自分の長所や短所を理解し、まとめることができる。 (思判表力)経験したことを自分に生かし、次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動を振り返り、自分の長所や短所を理解し、まとめるようとすることができた。 (思・判・表)経験したことを自分に生かし、次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(9月)	・2学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーについて理解することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて理解することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(12月)	・校外学習

		(知及技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えようとする事ができた。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期を振り返ろう」 「冬休みの過ごし方について」 (12月)	・スライドで2学期を振り返る。 ・2学期の自分の目標を振り返る。 ・冬休みの過ごし方
3 学 期	9	(知及技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得意不得手について整理し、まとめることができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価することができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得意不得手について整理し、まとめることができる。 (思・判・表)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価しようとする。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「キャリアパスポート、振り返り、評価しよう」(1月)	・3学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技) 交通機関や公共施設の利用の仕方を知る。 (思判表力) ルールやマナーについて考え、自分の約束事を確認できる。 (学・人) 仲間と協力して、マナーを守り、楽しく安全に活動できる。	(知・技) 交通機関や公共施設の利用の仕方を知ろうとする。 (思・判・表) ルールやマナーについて考え、自分の約束事を確認しようとする。 (主学) 仲間と協力して、マナーを守り、楽しく安全に活動しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】キャリアパスポート。活動の様子の観察で評価する。	「校外学習」(2月)	・行き先、交通機関や公共施設の使用マナーについて ・約束やルールを守って行動する。
		(知及技) 1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技) 1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てようとする。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組もうとする。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。 【評価資料】キャリアパスポート。活動の様子の観察で評価する。	「1年間を振り返ろう」 「春休みの過ごし方について」(3月)	・スライドで1年間を振り返り、次年度に向けての目標を立てる。
総 時 数	35				

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程Aグループ） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部1年Ⅱ課程	岸本 鈴香

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団行動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期や学年の節目を迎えて (4、7月)	・入学式 ・1学期終業式
		(知及技)健康の保持増進の意義を理解することができる。 (思判表力)自己の健康についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)健康の保持増進の意義を理解している。 (思・判・表)己の健康についての課題や解決策について考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	健康な体をつくろう (4～7月)	・身体測定 ・耳鼻科検診 ・心電図、胸部X線検査 ・内科検診 ・歯科検診 ・視力検査
2 学期	14	(知及技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期の節目を迎えて (9、12月)	・2学期始業式、終業式
		(知及技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思判表力)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・不審者が来たらどうやって身を守る ・地震、津波が来たらどうする (10～11月)	総合避難訓練①不審者避難訓練 総合避難訓練②地震・津波避難訓練
		(知及技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解することができる。 (思判表力)健全に生活するために、運動することの良さについて考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解している。 (思・判・表)健全に生活するために、運動することの良さについて考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	目標に向かって挑戦しよう (11～12月)	特別支援学校体育大会
3 学期	9	(知及技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組むことができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期や学年の節目を迎えて (1、3月)	・3学期始業式 ・小、中、高等部卒業式 ・修了式
		(知及技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思判表力)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	火災が起きたら何をすべき (2～3月)	総合避難訓練③火災避難訓練
総時数	35				

令和6年度 中学部 1年（Ⅱ課程） 自立活動 年間指導計画

配当時数		対象生徒		担当者	
70		12名		岸本 鈴香	
年間目標		・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を養う。 ・生徒の体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効的な活用を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	評価規準	内容区分、項目	単元・題材の活動内容
1学期	24		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	1 健康の保持 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事 2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化の対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する事。	
2学期	28	・自ら気付いて身だしなみや保清に取り組む。 ・活動内容やスケジュールに見通しを持ち、落ち着いて行動できる。	・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	3 人間関係の形成 (1)他者との関わりの基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。 4 環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。	「自立活動の時間における指導」の中で学習グループ全体で以下ア～ウの指導を年間を通して行う。 ア 言葉かけや視覚的な教材を活用して身だしなみや保清をする。【健(1)、人(3)】→絵カードや鏡、手順表 イ 朝の時間帯に日課の記入を行い、日程と準備物の確認をする。【人(1)(2)、環(1)、コ(1)(2)】→白板や連絡帳への記入 ウ 話したい内容を短い文章にまとめ、適切な言葉で表現できるように会話をしながら引き出す。【心(2)、人(1)(4)、コ(1)(3)】→出来事発表など
3学期	18		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	5 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。 6 コミュニケーション (1)コミュニケーションの基本的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。	
総時数	70				